



本物力こそ桑名力

市長臨時記者会見

令和8年3月26日

桑名市

日本初!!



『多度学園』

～ AIとつくる校歌の完成について～



本物力こそ桑名力



AIを活用した校歌作成のねらい



本物力こそ桑名力

- ・校歌作成にあたって「校名」「校章」のように、「地域の思い」「主役となる子どもたち自身の思い」などを何とか校歌作成に込められないものか。
- ・「特定の人に依頼する」「楽曲業者に発注する」「広く一般公募する」など、様々な校歌作成の手法があるが、今までにない新たな手法で、新しい学校にふさわしいものは何か・・・模索していた。

国立研究開発法人 理化学研究所 革新知能総合研究センターと
iU 情報経営イノベーション専門職大学との共同研究
「超校歌～AIがつくるみんなの校歌～」プロジェクト



生成AIを活用した校歌作成



R5.10 「多度学園」校歌作成に関する連携協定締結

- ・国立研究開発法人理化学研究所
革新知能総合研究センター(東京都)
- ・学校法人電子学園(東京都)
iU情報経営イノベーション専門職大学
B Lab
- ・桑名市

R5.10 開校準備委員会(地元自治会、保護者、教職員の代表者等で構成)
における校歌企画会議 歌詞案5案を作成

R5.11 開校準備委員会 歌詞案5案→1案に決定

R6.11 理研生成AIを活用した作曲授業(135名参加)

- ※参加者:多度地区4小学校・1中の子どもたち、開校準備委員会委員
- ・授業は4回行われ、各回10グループに分かれ、グループ毎に作曲作業
- ・校歌が10曲×4回 40曲 出来上がる

(人の手による音楽的観点からの修正を経て..)

R8. 3 校歌完成

作詞の様子





R5.10 「多度学園」校歌作成に関する連携協定締結

- ・国立研究開発法人理化学研究所
革新知能総合研究センター(東京都)
- ・学校法人電子学園(東京都)
iU情報経営イノベーション専門職大学
B Lab
- ・桑名市

R5.10 開校準備委員会(地元自治会、保護者、教職員の代表者等で構成)
における校歌企画会議 歌詞案5案を作成

R5.11 開校準備委員会 歌詞案5案→1案に決定

R6.11 理研生成AIを活用した作曲授業(135名参加)

- ※参加者:多度地区4小学校・1中の子どもたち、開校準備委員会委員
- ・授業は4回行われ、各回10グループに分かれ、グループ毎に作曲作業
- ・校歌が10曲×4回 40曲 出来上がる

(人の手による音楽的観点からの修正を経て..)

R8. 3 校歌完成

完成した校歌(歌詞)



本物力こそ桑名力

♪♪♪ 多度(たど)学園(がくえん) 校歌(こうか) 歌詞(かし) ♪♪♪

作詞 多度のみなさんと超校歌プロジェクト

作曲 多度の小中学生と超校歌プロジェクト

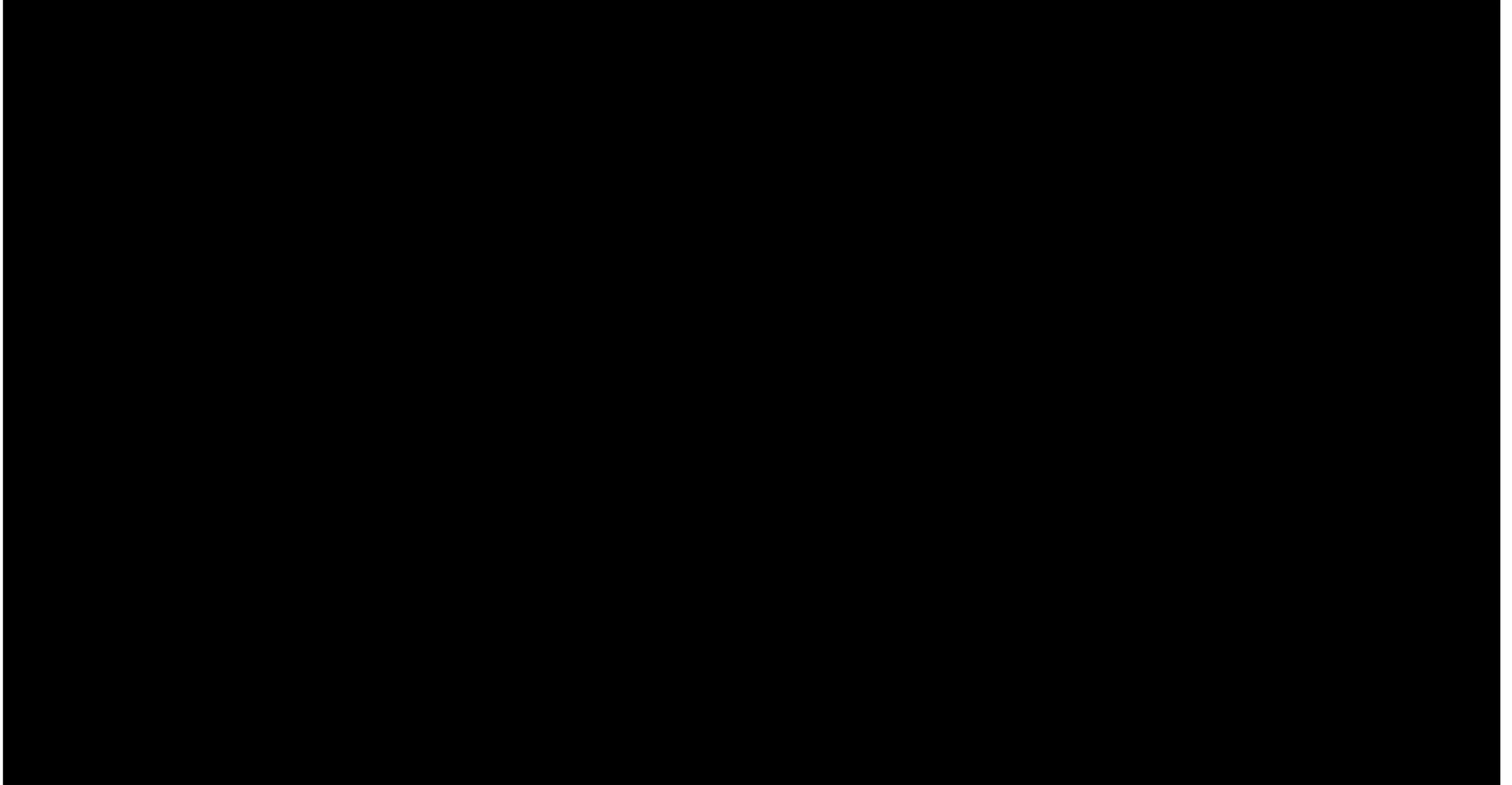
1 多度の流れは 清らかに
澄んだ心に 夢のせて
ああ我らは誓う 幸せ創る架け橋に
優しい心を 育みて
かがやく笑顔 多度学園

2 多度の緑に 抱かれて
学びの坂を かけあがり
ああ我らは誓う 明日をつなぐ架け橋に
互いのおもいを 尊びて
豊かに学ぶ 多度学園

3 多度の大空 果てしなく
高まる希望 追い求め
ああ我らは誓う 世界に広がる架け橋に
伸びる力を 磨き合い
広がる未来 多度学園



作曲の様子





「くわなっ子ラーケーションの日」の 導入について

○令和8年度より、市立小・中学校、義務教育学校に、
年間3日のラーケーション制度を導入します。

ラーケーション制度について



本物力こそ桑名力

「ラーニング(学び)」と「バケーション(休暇)」を組み合わせた造語で、平日に保護者と共に校外活動を行うことで、子どもが学校を欠席扱いにならずに休める制度。

導入自治体

- 令和5年 愛知県が全国初の導入
- 以降、都道府県単位では 茨城県、山口県などが導入
- 市町村単位では 大分県別府市、栃木県日光市、沖縄県座間味村 など
- 三重県内の事例 志摩市「しま・家族と過ごす学びの休日」(R7.9より)

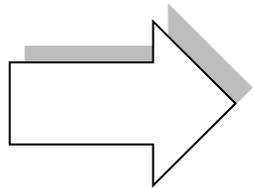
- いずれも、年間3～5日を、体験活動等のために取得可能。
- 学校における公簿上の扱いは「出席停止・忌引等」



桑名市子どもの権利条例

第9条

市は、こどもの権利を保障するため、保護者に対し、それぞれの家庭等の状況に応じた適切な養育ができるよう支援に努めます。



「3人に1人が土・日に勤務(総務省調査等)」等、働き方が多様化する中、家族で過ごす時間の創出に寄与

名称「くわなっ子ラーケーションの日」

○「家族と過ごす」ことを重視

- ・ 導入自治体に多く見られる「体験的活動」等の内容の縛りは設けず、「家族と過ごす」を唯一の条件とする。
- ・ 実施前の計画書や実施後の報告書の提出は求めない。

○「年間3日」を自由に取得

- ・ 年間3日の範囲であれば、「連続で取得」「1日ずつ取得」のいずれも可(最小単位は1日)とする。
- ・ 「取得できない日」は原則設けない。



○市内統一の欠席連絡システム「tetoru」から、通常の欠席連絡と同様に申請。

○制度による事務負担増を抑制

- ・ 保護者は既存の欠席連絡システムで申請、学校も既存のシステム登録の手続きで完結する。
- ・ ラーケーション取得による学習の特別な補習・給食費の返還は行わない。



- 自治体一斉連絡システムで保護者へ周知
 - 桑名市HP等でも公開
- ⇒ 令和8年度から
制度開始

令和8年度 スタート!

くわなっ子 ラーケーションの日

お子さんと一緒に休日を過ごしませんか?

令和8年度より、保護者の平日のお休みにあわせて、お子さんが家族と一緒に過ごすために学校へ登校しない日を「欠席」とならず取得できる、「くわなっ子 ラーケーションの日」制度を導入します。

「家族と過ごす」なら、過ごし方は自由!

出かけても、家でゆっくりしても、過ごし方は自由。後日の報告なども不要です。

年度中、3日まで

1日ずつでも、3日続けてでも、使い方は自由。使わない選択も可能です。

申請はtetoruから

原則、取得する前日までに、「tetoru」で学校へ連絡してください。

種別は「欠席（入力のみで、欠席扱いにはなりません）」、理由は「その他」、備考に「ラーケーション（〇日目）」と記入してください。

※tetoruを使用していない方は、日頃の欠席連絡と同様の方法で連絡してください。

tetoruでの申請例

種別	欠席	遅刻	早退	遅刻/早退
日付	2026年4月15日(水)			
理由	その他			
備考	ラーケーション (1日目)			

令和8年4月
桑名市教育委員会

くわなっ子ラーケーションの日 Q&A

どのような制度ですか?

保護者の方の平日のお休みに合わせて、お子さんが、「家族と一緒に過ごす」ことを目的に学校へ登校しない場合、その日を欠席と扱わないことができる制度です。

どのような時に使えますか?

「家族と一緒に過ごす」のであれば、出かける、家でゆっくりするなど、どのような目的でも取得可能です。

いつ取得できますか?

原則、いつ取得しても構いませんが、学校の年間行事予定等を確認し、学校行事や成績・進路に関する予定がある日は、学校へ早めに相談してください。

取得や取得の取り消しはいつまでできますか?

当日、急遽取得できるようになった場合も、取得は可能です。また、天候等のために取得を取り消す場合、当日中に連絡いただければ取り消しが可能です。翌日以降の取り消しや、欠席した日を後日ラーケーションの日として申請することはできません。

どれだけ取得できますか?

同一年度の間に3日間まで取得することができます。1日づつ、3日続けてなど、どのような取得の仕方でもよく、取得しないことも選択できます。取得しなかった日を来年度以降に繰り越すことはできません。

きょうだいで同じ日に取得できますか?

きょうだいで同じ日に取得してもかまいません。その場合は、それぞれのクラスに対して連絡をお願いします。

子どもだけで過ごさせてもいいですか?

「家族で過ごす」が目的の制度なので、子どもだけで過ごす場合は制度を取得することができません。

登校しなかった日の勉強はどうすればいいですか?

デジタルドリル等を活用して、自習で補ってください。授業で配付したプリントなどがあれば、学校にお願いしてもらうことができます。

連絡票や調査書にはどのように記録されますか?

「出席停止・忌引等」の日数として記録されます。

桑名市HPで、制度についてのより詳細な情報を掲載しています。
右の二次元コードからご確認ください。

制度についての 桑名市教育委員会事務局 教育指導課
問い合わせ 0594-24-1240 (平日9時~16時30分)



本物力こそ桑名力

次なる学校整備に向けた重点地域



桑名市初となる施設一体型義務教育学校 『多度学園』



桑名市立小中学校再編計画



本物力こそ桑名力

桑名市立小中学校再編計画

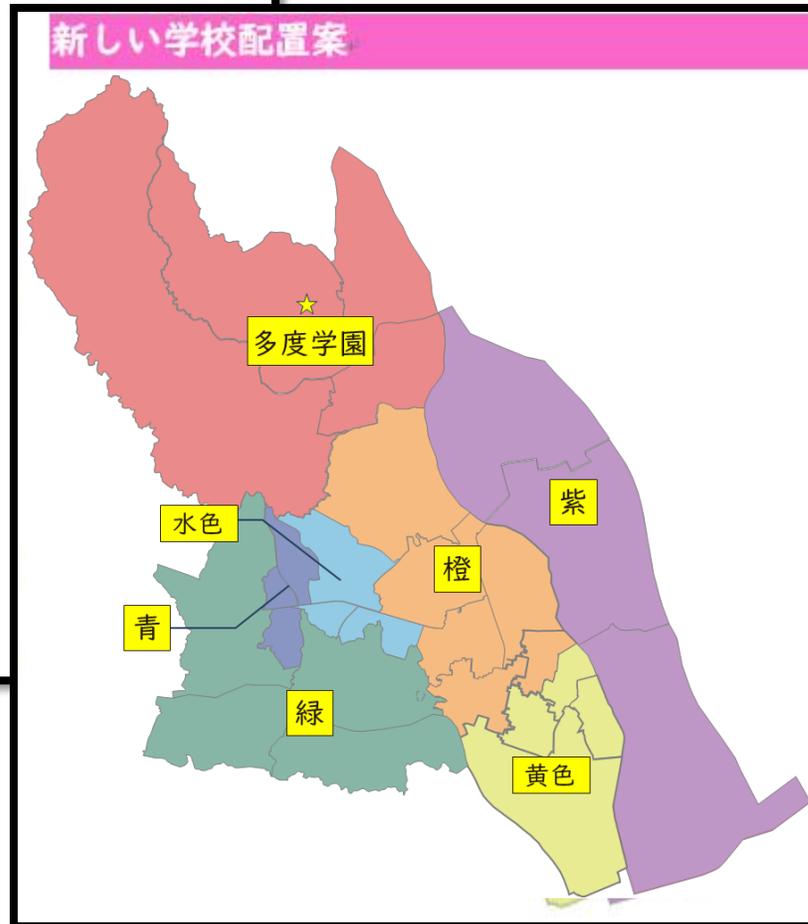
学校の将来構想である

桑名市立小中学校再編計画が

令和8年3月10日に

策定されました

令和8年3月
桑名市

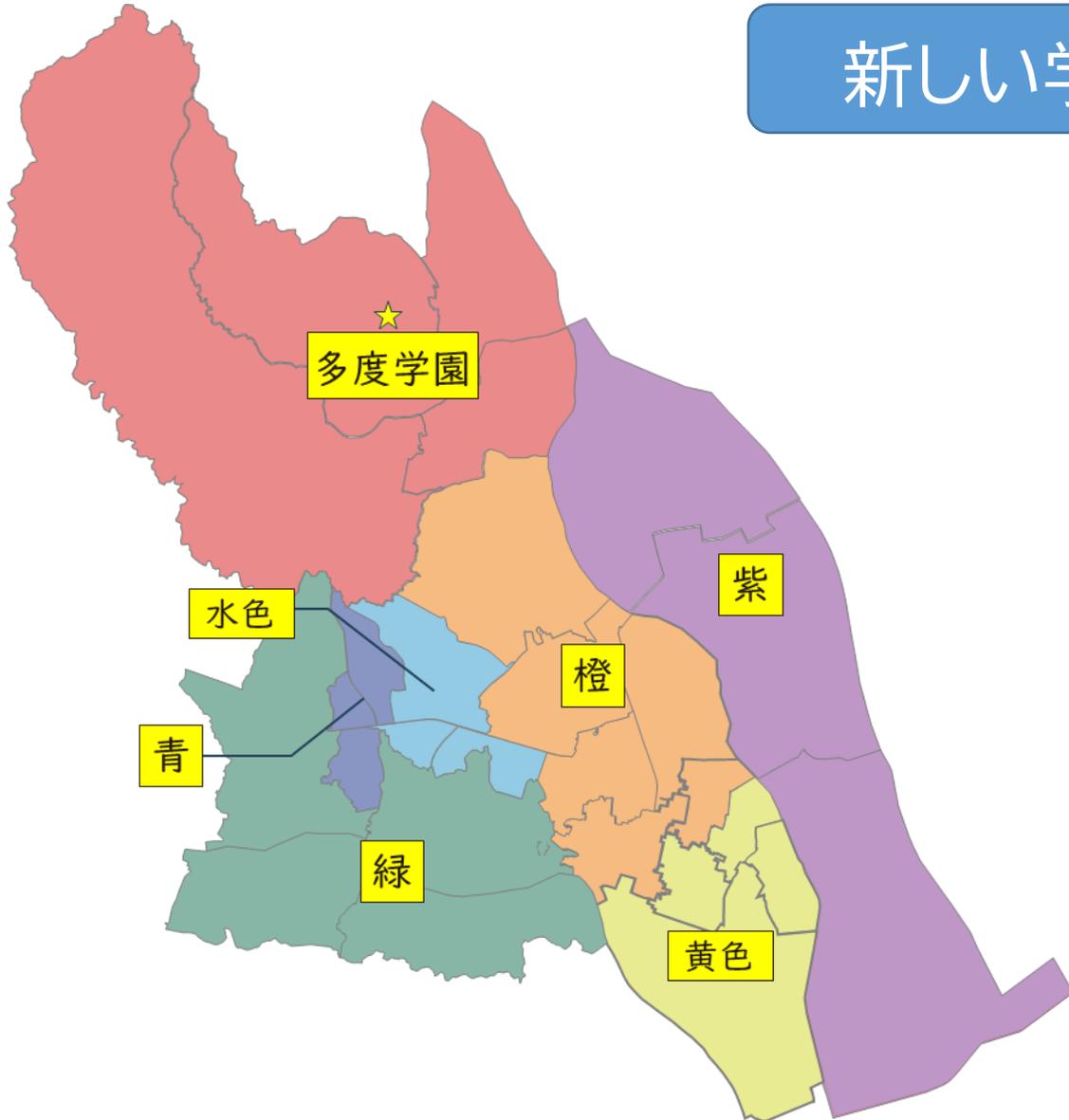


桑名市立小中学校再編計画



本物力こそ桑名力

新しい学校配置案



学区割構成	
橙	精義小学校 益世小学校 修徳小学校 大成小学校 深谷小学校 大和小学校 上記小学校区の生徒
	日進小学校 立教小学校 城東小学校 城南小学校 上記小学校区の生徒
	桑部小学校 在良小学校 七和小学校 久米小学校 上記小学校区の生徒

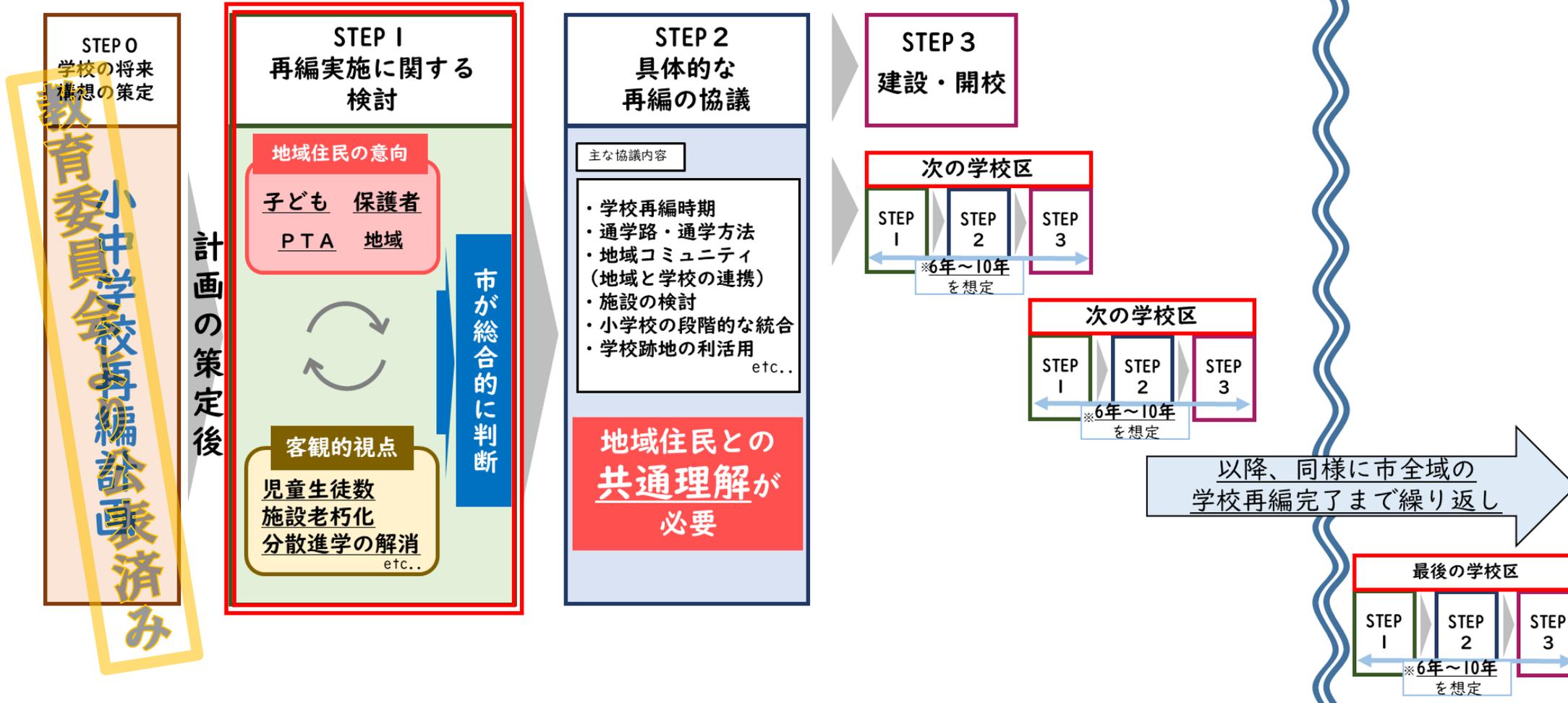
学区割構成	
水色	大山田東小学校 大山田南小学校 藤が丘小学校 上記小学校区の生徒
	大山田北小学校 大山田西小学校 星見ヶ丘小学校 上記小学校区の生徒
青	長島北部小学校 長島中部小学校 伊曾島小学校 上記小学校区の生徒

再編計画の実施イメージ(現況)



本物力こそ桑名力

小中一貫校1校完成に
6年～10年を想定



再編計画の実施イメージ(STEP1の実施)

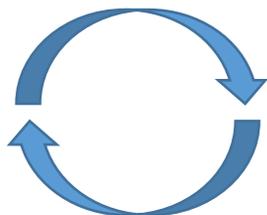


本物力こそ桑名力

STEP 1

重点地域

各地区との
対話の実施



客観的視点

各地区の状況分析

- ・児童生徒数
- ・分散進学の解消
- ・施設老朽化
- ・各地区個別事情

再編のあり方や
再編実施を判断

STEP2(今後の展開)

子ども・保護者・PTA・地域等と
の共通理解のため



具体的な
再編の協議を実施

教育を取り巻く諸課題



本物力こそ桑名力

児童生徒数減少による
学校の小規模化



小中一貫教育の
乏らなる充実

本課題は**早急に解決**する必要がある。

学校施設の老朽化



分散進学

再編の協議を進める重点地域



本物力こそ桑名力



構成する小学校の
児童数(単学級・複式
学級発生校数)



学校の老朽化
(築年数)



分散進学対象校数



用地確保の容易さ
(スピード感)

市として
総合的に
判断

以下2つの地域を
重点地域として位置づけ、
今後、学校再編実施に向けて
地域との協議をスタートさせる

